

今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2016年3月）

景気減速が続き、金融・財政政策強化の期待が拡大

ポイント1 景気は下振れ

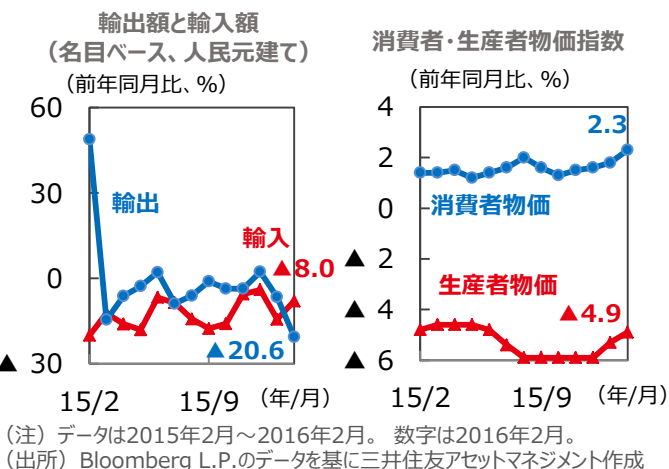
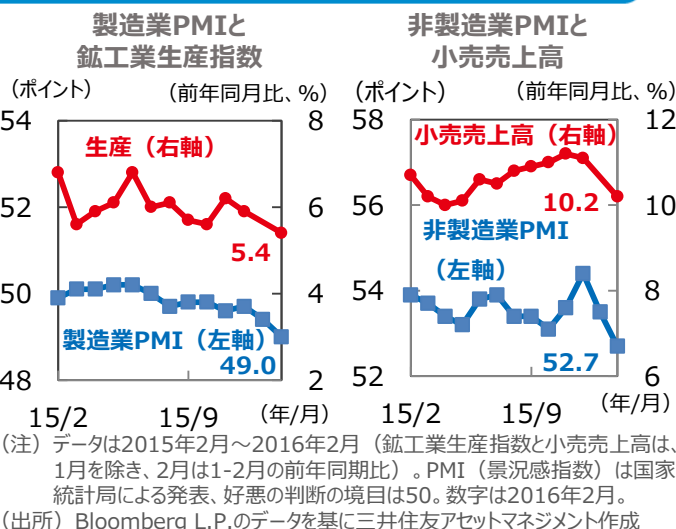
素材などの生産の減少が続く

- 2月の製造業PMIは、1月から低下し、節目となる50を7カ月連続して下回りました。1-2月の鉱工業生産指数も前年比の伸びが縮小しました。過剰生産能力の削減や輸出減少などが生産を抑制しました。
- 2月の非製造業PMIも、1月から低下しました。1-2月の小売売上高も前年比の伸びが縮小しました。春節休暇中の消費が期待されたほどではなく、製造業の低迷が影響したと見られます。

ポイント2 輸出入の減少続く

物価は一時的に上向く

- 2月の輸出入は、前年比で減少が続きました。中国の内需低迷から世界経済が減速し、それが中国の輸出を減少させるという、負の循環が懸念されます。
- 2月の消費者物価は、天候要因による食料品価格の上昇を受け、前年比で上昇が加速しました。また、原油や資源価格が反発し、生産者物価も前年比のマイナス幅が縮小しました。しかし、過剰生産能力の削減による物価下落圧力が大きく、物価は上昇しづらい状況が続くそうです。



今後の展開

金融緩和と財政拡大により、年「6.5%以上」の成長維持へ

- 3月に開催された全人代（全国人民代表大会、日本の国会に相当）で、2016年の経済成長率目標が「年6.5%～7.0%」と決定されました。また、李首相は閉幕後の記者会見で、「中国経済のハードランディング（急激な悪化）はあり得ない」と発言し、内外の不安払拭に腐心しました。
- 全人代では、最低限「6.5%以上」の成長を目標に掲げる5カ年計画も決定しました。イノベーション（技術革新）主導の経済発展を目指し、積極的に金融・財政政策を活用すると見込まれます。足元の経済指標は低調であり、目標達成のために政策対応が強化される期待が強まっています。

ここも チェック!

2016年 3月 16日 中国は安定成長を目指し「目標」決定（中国）
2016年 3月 1日 中国が預金準備率を引き下げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。